

病と障害への質的アプローチ ～人生 with 病い and/or 障害～

目 次

* 日本質的心理学会研究交流委員会企画シンポジウム*

「フィールドワークのプロセスをいかに記述するか？」

：看護学のアプローチと心理学のアプローチ」

シンポジウム

司 会：尾見 康博（山梨大学）

「慢性疾患を持つ子どもと家族への支援プロセス」

薬師神裕子（愛媛大学）…… 2

「障害のある子どもと社会をつなぐ家族のプロセス

—父親と母親の面接調査を通して—」

濱田裕子（九州大学）……… 13

「バリアフリー分野におけるニーズ把握のプロセス」

荏田知則（愛媛大学）……… 21

「院内学級の入院児への教育的援助」

谷口明子（武蔵野大学）…… 27

指定討論：サトウタツヤ（立命館大学）

操 華子（国際医療福祉大学）…… 35

** グリーンハル教授講演会**

司 会・解 説：斎藤清二（富山大学保健管理センター）…… 53

‘What seems to be the trouble?’ Stories in illness and healthcare

Professor Trisha Greenhalgh (University College London) …… 60

「何にお困りですか？」—病いとヘルスケアにおける物語—

（富山大学・斎藤清二訳）…… 67